



「気持ちを切り替えて復興に」  
女川町の中学生の強さに共感



### シンポジウムで震災の状況を話す女川町の中学生

2011年7月31日、夢みる「どもキャンペーン」第17回イベントの、目玉である「「どもシンポジウム」が開催されました。出席者は、自分の夢をテーマとした作文・絵画で上位入賞した小学生13名、そして、3月の東日本大震災で被災した、宮城県女川町の中学生4名です。この「「どもシンポジウム」は3月に行われた、第17回「「ども会議」で、実際に参加者から出た「被災地の人たちを元気つけたい」震災の正しい情報を知りたい。」という意見から開催が決定しました。シンポジウムでは、参加した小中学生全員が、自分の考えや夢を発表しました。

最初に、実際に被災した人から、震災について考えたことを発表しました。「命の大切さ、人と人とのつながりの大切さが分かった。」「2ヶ月間、電気と水がない状態

また、今回の地震で問題とされているものの一つに、エネルギーの問題があります。これから、エネルギーとどのように向き合っていくのか考えるため、夢みる「じともキヤンペーン」のO.B.O.Gが、エネルギーに関する調査原子力発電所でのインターネットの結果を発表しました。どのエネルギーにもそれぞれ、長所や短所があります。それらを踏まえたうえで、今後のことを考えていか

が続き、家の明かりがついた時、水道から水が出た時に家族みんなで喜びあつた。当たり前ものが、大切であると氣付いた。「実際現地にいた人にしかわからない、生の声を、参加した小中学生は驚きながら、そして、真剣に聞いていまし

OB・OG会代表、基本  
る中、被災した女川町の生  
学生からは、「気持ちを切ら  
替えていかないといけない。  
といつ意見が出ました。新  
な気持ちを持ち、そして奮  
興していく」という考えに  
出席者は女川の中学生  
強さを痛感しました。

参加者から、「これからもできる限りの支援を行いたい。」

ちの夢が発端で  
す。こどもたちの發  
想が、実際にかなう姿  
を見ることが出来、と  
もうれしく思います。そ  
して、色々な人の夢や希望  
を聞くことが出来たとのシ  
ボジウムは、大成功であつた  
と美感しています。今回参  
加した小中学生には、こわ  
からもたくさんの方の夢を持  
て、そして希望を持つて、実  
行して行ってほしいと思いま  
した。

A close-up photograph of a person's torso. They are wearing a white t-shirt with the words "CHILDREN CAMPO" printed in blue capital letters across the chest. A clear plastic card is attached to a red lanyard around their neck. The person's arms are visible on either side of the frame.

なければならぬ」と、多く  
参加者が自覺したようで  
た。

ンポジウムを聞いていて、僕は、こどもたちの持夢の話を知りました。このシンポジウムは、3月の会議から始まり、それまでの4ヶ月間の集大成となりましたが、企画から、実施

岡部憲和（基金OB・OG会代表、基金理事、九州大学生）

# 日頃から学校や家庭での防災対策を痛感 「子どもシンポジウム」に参加して



会場の人たちに手話を教えるながらのダンスの披露

今夏の第17回夢みるこどもキャンペーンイベント、2日目、福岡市・明治安田生命ホールでは宮城県女川町から招いた中学生と先生も参加しての「子どもシンポジウム」が開催された。

そこでは、女川第一中学校の阿部先生が卒業式前日、準備中に起った地震・津波の状況、その後から現在に至るまでの様子をスライドを使いながら語られた。震災の過酷さを目にし、震災により家族や家を失いながらも町の復興と再び家族の笑顔を取り戻そうと前向きに考え方行動している女川町の人達や中学生の前向きな活動に、僕は頭の下がる思いがした。

中でも震災後学校が再開された時先生に「今の自分の心を素直にそのまま絵にしてござらん」と画用紙を手渡された中学生の描いた絵が紹介された。その絵1

枚1枚にはそれぞれの悲しみ、怒り、憤りなどが込められた心の扉を開け放して描いている姿を僕は想像した。荒々しい筆遣いの絵、淡淡く優しいタッチの絵だけれど、画像はリアルで厳しい現実の世界のものであつたりと、様々だった。一人ひとりの思ひが本当に伝わってくるよう感じ、僕は目を見張った。その後に行われた討論会では、4人の中学生の体験談、体験をもとに防災対策について、こども会議のメンバーからも質問が出され話しあわれた。ただ、その中で出された意見として、防災対策にこつしたから絶対安全!といふものはない。だからこそ、普段から、家族や学校の中で、発生した時を想定した逃げ道や場所、連絡先、手段などを話し合って

いた。また、今回の東日本大震災での2次災害となつた福島第1原子力発電所での事故をきっかけに原子力エネルギーや新しいエネルギーについても討論された。本当に安全で低コストで効率の良い新しいエネルギーを開発しようと、日本だけでなく各国で研究されているが、新生エネルギーの開発までには時間がかかります。僕は、今まで夢みるこどもキャンペーンのテーマソングである『Don't Stop My Dream』を誰かの為に歌ってあげたいと思つた事はなかった。それが

今年は、この曲が被災地と結ぶ絆の曲となつたように感じた。



基調講演をする八尋理事長

堀江 健一郎（基金実行委員、福岡県立城南高2年）

## 巣箱作りに夢を込めて

トンテンカン、トンテン

カン

森閑な森の中にかなづ  
ちの音と共に「こどもたちの  
楽しそうな声が響く。

こどもたちが夢中にな  
て取り組んでいるのは巣

箱作りだ。

昨年、佐賀県背振山に  
開設した「夢みるこども基  
金の森」は、今年2度目の  
夏のイベントを迎えた。基  
金が2008年頃から環  
境問題に取り込んでいる



中、まずはありのままの自  
然を感じることから、とオ  
ープンした基金の森は  
着々とイベントの柱として  
こどもたちに根付き始め  
ている。

佐賀森林管理署の署  
長、大倉孝行さんは「森の  
用途はこどもたち次第。  
冒険や研究にも使える。  
まずは森のことを知つても  
らいたい」と話す。

また森林教室も開かれ、  
NPOのピックリーフの専  
務理事である久保基行さ  
んが森の働きや性質をこ  
どもたちに分かりやすく  
説明した。森林の土と学  
校のグランドの土の水分の  
吸収の違いの実験も行わ  
れ、こどもたちは森林の土  
の柔らかさに驚いていた。

その後、森の散策をし、  
みずみずしい自然の香り  
をこどもたちは十分に満  
喫した。

今回、基金の森作りの  
第一号として「こどもたちの  
手で作られた巣箱は各



木々に設置された。自分たちの巣箱に名前や夢を描き、来春の鳥の巣立ちに期待に胸をそそらませいる様が、「こどもたちの夢をのせて、小鳥たちが飛び立つてくれる」と願うかのように見えた。きっと、年月を経ても、自分たちが夢を馳せたこの巣箱を皆忘れないだろう。

近年、原発問題等で自然エネルギーの重要さや環境問題が取り沙汰されている中で、この基金の森を通して、自然と共に存していくための考える知恵の場になってくれればと思う。今後も、こどもたちの様々なアイディアで、この基金の森が彩られていくことだろう。



小鳥たちの訪れを待つ  
巣箱づくり



神田瑞季／「生きる」



鈴木里衣菜／「震災前の女川」

## 宮城県・女川町 「復興の絵はがき」

イベントに参加してくれた女川第一中学校の卒業生が書いた絵が「女川復興絵葉書」として販売されています。売上金の一部は女川町のこどもたちのために寄付されることになります。

希望者は、次のアドレスに希望セット数(1セット2枚組・200円)、住所、電話番号をお送りください。  
[abebeonagawa@hotmail.co.jp](mailto:abebeonagawa@hotmail.co.jp)



## NHKがテレビとラジオで放送



今回のイベントの模様はNHK、毎日新聞、西日本新聞の各社と歯科業界紙3社に取材、報道をして頂きました。特にNHKは当日の夕方と夜の2回、テレビとラジオで放送し、関係者から「テレビで見た」「ラジオで聞いた」との声が事務局に寄せられました。

毎日新聞、西日本新聞、歯科業界紙も大きく報道し、歯科業界紙には特集を組んだり、コラムでも取り上げてもらい、基金の役員、スタッフも「手応えのあるイベントだった」と喜んでいます。

# 第17回こども宣言

今年3月11日、東日本大震災が起きました。

東北では日常が一瞬にして奪われ、東京は首都としての働きを失い、日本中のテレビが全て非常事態の緊急番組に変わりました。そこに映し出されたのは現実とは思えない映像と信じられない悲しい出来事でした。

「日本は一体どうなつてしまつのか。」

皆、きっとこう思つたと思ひます。

あの日から4ヶ月。

あの日を境に、私たちの生活の中の「当たり前」がなくなりました。

電気、水道、ガス、食物の安全性、そして生きている、といつづ。

失つて初めて気づくものの大きさを知ると同時に、今までの「当たり前」を支えてくれた人たちの存在に気づかされました。

しだ。  
しかし、私たちはまだ、ひとつの大切な心を忘れてはいませんでした。

分に出来ることは何か、を考えながら、情報を集め、行動に移していました。

この国には人の痛みを分かち合う、こんな温かい心があります。



こども宣言を発表する代表

ました。この世の中に「当たり前」なものは何一つなく、感謝して初めて得られるものばかりということ、それは私たちが忘れてしまっていた心で

あります。

人々がすぐに動きました。救援物資を抱えて被災地へ赴き、人、街頭で募金を呼び掛ける人、被災地でボラティアをする人。一人一人が自らが忘れてしまっていた心で

あります。

今日、ここに九州から東北まで全国からたくさんの子供たちが集まりました。

みな、それぞれ自分たちに

題を抱えていますが、こんな時だからこそ、私たちは上を向いて、今を一生懸命に生きようと思います。今まで幾度となく大変な経験をしてきた日本が、その度に乗り越えてこられたのは、人々の絆、未来への希望があつたからです。

日本はきっとまた立ち上がります。私たちはその託された未来へのたすきをしっかりと受け取つてつないでいきます。

ここ、福岡で生まれた宮城県女川町との絆は、復興への架け橋です。

今日のこの絆を胸に、復興への長い道のりを、一緒に歩んでいきたいと思います。

未来は私たちの手でつくられます。日本の持つ力を信じて、私たちの未来を信じて、今を精一杯生きていきます。

## 震災地支援の意見が続出

夏のイベントの内容を決め  
る第17回こども会議が3月  
7日、吉川市立こども文化会館  
で開催されました。



震災復興の意義

どもたるもの意見を基に事務局でイベントの内容を検討することになりました。

「しよう」ということになり、「被災地に応援メッセージを送りたい」「放射能が問題にならないので原発についての学習をしてみたい」「本を送りたい」など意見が出ました。

A group of students are gathered in a circle on the floor of a classroom. They are holding small white papers or cards. In the background, there is a large screen displaying a colorful graphic with a star and the Japanese text 'こととも会話' (Kotonomo Conversation). To the right, there are several wooden panels with various illustrations and text, possibly related to the conversation topic.

夏のイベントの内容を決め  
る第17回ごども会議が3月  
27日、福岡市中央区のアクト  
ス福岡・円形ホールで開かれ  
ました。基金が「私のかなえた  
い夢」のテーマで募集した作  
文・絵のコンクールには全国の  
小・中学生3,193件が応  
募し、その中から選ばれた22  
人が出席しました。  
開会に先立ち東日本大震  
災の犠牲者と3月20日に病  
氣でなくなった中村直・基金  
理事長代行に対し、全員で  
黙とうをし、中村理事長代  
行に代わり、八尋晋作常任

理事事が「基金の第1回のいざなぎントも阪神淡路大震災が「一々で、被災地の「どもたちを励ました。みんなさんの夢を実現するために熱の込もうた」ととも会議にして「下さい」と開会の挨拶をしました。

#### ◆第17回 作文の部・入賞者リスト(31名)

名前		県名	学校名	学年	題名
最優秀賞	橋田 花梨	茨城	石岡小学校	小5	手話
優秀賞 (2名)	塙山 幸余	福岡	美和台小学校	小6	人の役に立つために(児童臨床心理士)
	秋吉 玖美	福岡	杷木中学校	中2	私の思い(理学療法士、作業療法士)
特選 (7名)	永井 ゆきの	大阪	平井中学校	中1	普通の家族
	竹田 優里	福岡	大楠小学校	小5	何人もの人の命(音の鳴る信号機)
	諫山 雅人	福岡	野芥小学校	小6	世界的な科学者
	喜納 美成	沖縄	安慶田中学校	中2	夢(おばあちゃんに恩返し)
	川添 美波	鹿児島	鷹巣小学校	小1	たくさんの動物たちと暮らしたい
	竹本 あさぎ	福岡	豊津小学校	小5	十月の天使(愛音)の分まで生きる
	豊永 哲也	徳島	白地小学校	小6	坂本竜馬を現代につれてくる
入選 (21名)	堀江 幸奈	福岡	城南小学校	小3	自然保安官
	淵上 瑠奈	熊本	水俣第一小学校	小3	わたしのしょうらいの夢(お医者さんになりたい)
	堀 桃華	福岡	南吉富小学校	小6	ハムスターにもらった夢 獣医
	白川 碧里	福岡	箱崎小学校	小6	わたしのかなえたい夢(国税局査察部で働きたい)
	小森田 雄大	福岡	田隈中学校	中1	将来の夢(細胞や遺伝子を研究したい)
	梶尾 歩夢	鹿児島	阿久根小学校	小3	ぼくのかなえたい夢(駄伝の舞台にたちたい)
	高橋 杏果	福岡	柳南中学校	中2	児童労働
	久米 羽奏	福岡	西新小学校	小2	にごにご玉ねぎ
	岩口 咲希	福岡	猪位金中学校	中1	会えることを夢みて
	二ノ宮 沙織	福岡	大刀洗中学校	中2	会いたい人
	飯澤 香苗	福島	湯本第三中学校	中1	私のかなえたい夢(こども会などの地域の集まりを)
	竹内 碧海	福岡	愛宕浜小学校	小5	ぼくの夢(獣医になりたい)
	小池 怜志	福岡	福大附属大濠中学校	中1	日本を良くしたい
	山口 貴輝	福岡	大楠小学校	小5	ぼくのかなえたい夢(タイガーマスク)
	小林 碧衣	福岡	猪位金中学校	中1	大好きな野球を世界中!
	田辺 夢莉子	福岡	西花畠小学校	小3	せかいのファンショングーデザイナー
	中村 大将	福岡	田隈中学校	中1	大きな夢(相撲の呼び出し)
	池田 夏波	福岡	田隈小学校	小2	わたしのゆめ(空から下の眺めを見たい)
	ぐくだ あや	鹿児島	川上小学校	小2	わたしのゆめ(パン屋さんになりたい)
	中村 真央	福井	福井大学教育地域科学部附属小学校	小6	将来の夢は将来の理想(キャビンアテンダント)
	新垣 万里	沖縄	安慶田中学校	中2	やってみたいこと(お菓子作り)

## ◆第17回 絵の部・入賞者リスト(24名)

名前	県名	学校	学年	題名
最優秀賞 畠 宗志	福岡	香椎小学校	小4	ほくの作りたい家 合しょう造り
優秀賞 (2名) 山下 采夏	福岡	三苫小学校	小3	洋服屋さんになりたい
佐藤 聰司	大阪	松原小学校	小6	介助犬育成士になりたい
特選 (6名)	伊福 実保	福岡	片江小学校	小6
	百武 明花	福岡	奈多小学校	小6
	今泉 智絵	福岡	南当仁小学校	緑が増えて生き物が平和に暮らしていくように
	西岡 月	大阪	天美小学校	いろいろな乗物に乗って空を飛びたい
	山道 慎	大阪	松原南小学校	世の中の役に立つ 巨大ロボットを設計して作る
	廣岡 舞	大阪	南田辺小学校	ジャングルを探検したい
入選 (15名)	福盛 紀世輝	鹿児島	川上小学校	牧場経営 牛乳やチーズを作りたい
	本田 大夢	福岡	東光小学校	気球に乗って宇宙に行きたい
	津守 由紀子	福岡	若松中学校	大工さんになってひまわり畑に囲まれた家を建てる
	藤岡 加奈未	福岡	西新小学校	木が増えて環境がよくなつてほしい
	梅尾 幸恵	福岡	和白東小学校	世界遺産に旅行に行きたい
	清水 拓哉	福岡	西花畠小学校	マンガ家になりたい
	吉田 幸太郎	鹿児島	西伊敷小学校	家族みんなで宇宙旅行に行きたい
	平尾 修一	福岡	花畠小学校	仮面ライダーになりたい
	池田 優香	福岡	西新小学校	花いっぱいの地球を気球に乗って眺めてみたい
	宮崎 大洋	福岡	松島小学校	魚と自由に泳げる薬を開発して魚と話したい
	いがらしともや	福岡	西新小学校	消防士になって人を助けたい
	吉永 和輝	熊本	本渡北小学校	お相撲の力士 しこ名は「とものしん」
	ごとう しゅう	福岡	箱崎小学校	空手の試合で金メダルをとりたい
	占部 翠太郎	熊本	本渡北小学校	大好きな電車が走っている町がほくの家の庭に
	實松 蒼大	福岡	長住小学校	おすし屋さんになりたい

計 3,193点(作文1,948・絵1,245)

# 「わたしのかなえたい夢」

## 作文・絵コンクール・最優秀賞

作文の部・最優秀賞



橋田 花梨  
茨城県  
石岡市立石岡小学校5年  
(入賞当時)

### 「手話」

私は、テレビで手話を使って会話をしている人を見たことがあります。耳が自由な人にとって手話はすばらしい会話の手段だと思いました。

しかし、その後に手話が世界共通ではなく各国によつて表現がちがうことを知つて驚きました。言語では、英語が世界共通です

ので、ます英語の勉強をして、世界中の人と会話ができるようになります。しかし、手話でしか会話が出不来ない人はどうしたらよ

いなど思います。手話が誰でも当たり前のようになれる世の中になれば他人の心の痛みを知る、または知ろうとするやさしい心を持てるようになるのではないかと思います。

とても大きな夢ですが、世界共通の手話の研究ができるとすばらしいなと思います。

まだ私は、小学生なので、母国語である日本語をよく勉強してからになりますが、相手の気持ちを知ることが世界平和にもつながると思うので、多くの人に理解してもらいたい世界共通の手話の表現を実現していくたらと思います。



して外国語の手話も、勉強して、手話を必要としている生活をしている人も、手話を知る機会が増えるようにしていけたいなど思います。手話が誰でも当たり前のようになれる世の中になれば他人の心の痛みを知る、または

知ろうとするやさしい心を持つてるようになるのではなか

いかなと思います。  
ぼくは、将来大工さんになつて、合しよう造りの家を作りたいです。

畠 宗志  
福岡県  
香椎小学校4年  
(入賞当時)



絵の部・最優秀賞

### 「ぼくの作りたて家。合しよう造り。」

3月27日午前、子ども会議参加者代表4人は福岡市東区の青葉公園で桜の苗木(ソメイヨシノ)2年生木、高さ約2メートル)を7本植えました。基金が取り組んでいる環境保護活動の一つで今年で3回目になります。毎年7本ずつ植え続け、一

この日は東日本大地震災から2週間ほどしか経っておらず、こどもたちはこの桜が満開になる頃には被災した人々の心が癒えるように願いをこめて植えま

した。

ソメイヨシノ7本を植樹  
基金だよ!

情報



満開のサクラをイメージしながらの植樹



**木村 朱里**  
宮城  
女川第一中3年

イベントのこどもシンポジウムで復興への小さな力となればいいと思いました。3月11日の記憶を発表する事はすごく辛いことでしたが、多くの方々に知ってもらえたと思うので、良かったです。本当にありがとうございました。

私達女川第一中生を招待して頂きありがとうございます。私達は女川の復興に向けて頑張っています。このような経験をさせてもらい一生の思い出になりました。ありがとうございました。



**星澤 崎**  
宮城  
女川第一中3年

色々な体験ができた、とても楽しく過ごせました。僕達はいち早く女川町の復興ができるように頑張っていきたいと思います。



**佐藤 桂旗**  
宮城  
女川第一中3年

**小松 春音**  
宮城  
女川第一中3年

僕達は震災があつて大変不幸な思いをしましたが、全国の皆様の支援や協力によって僕達はこのようなイベントに参加できたりと幸せな思いができます。歯医者さんの皆様、本当にありがとうございました。

### 宮城県女川第一中学校の学生



## 歯医者さんぼくたち、わたしたちの夢を応援してくれて「ありがとう」

こどもたちから歯医者さんへたくさんの感謝の言葉が届いています

### こどもたちへのメッセージを!!

協力歯科医院の先生方からのメッセージをお待ちしております。  
住所、歯科医院名、氏名を明記し顔写真を添付の上お送りください。  
■メッセージの送り先:E-mail:jimukyoku@yumemirukodomo.jp



**小池 恵志**  
福岡  
大濠中2年

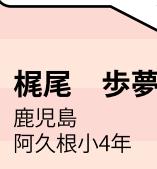
基金は全国の歯科医院で集めた金属冠などで活動をしていると聞きました。要らなくなった物を使って人助けをしようとするその心にとても感心します。

今回イベントに参加して、仲間と協力して取り組む事の楽しさを感じました。この取り組みにこれからも参加したいです。ありがとうございました。



**吉田 幸太郎**  
鹿児島  
西伊敷小3年

いつも基金を支えてくださって、ありがとうございます。歯医者さんが安全に歯の治療をしているところを見ているととてもカッコイイです。基金をこれからも支えて歯医者の仕事をがんばって下さい!



**梶尾 歩夢**  
鹿児島  
阿久根小4年

こども会議で、歯医者さんがぼくたちの夢を応援してくれている事を知りました。そのおかげで色々な人の話を聞いてとても勉強になりました。ありがとうございました。



**秋吉 玖美**  
福岡  
杷木中3年

歯医者さん、いつもぼくたちの歯を守ってくれて、ありがとうございます。仮面ライダーみたいな強い歯になりますように、これからも応援してください。



**今泉 智絵**  
福岡  
南当仁小5年

私と姉達は矯正をしています。3人共歯医者さんのおかげで歯が揃ってきました。そして、基金も歯医者さんのおかげで、たくさんの夢を実現する事ができます。これからもよろしくお願ひします。



**堀江 幸奈**  
福岡  
城南小4年

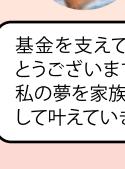


歯医者さん、私たちの夢を応援して下さり、ありがとうございます。被災した人たちの夢もかなうようにみんなで協力していきたいです。



**竹田 優里**  
福岡  
大楠小6年

私は姉達は矯正をしています。3人共歯医者さんのおかげで歯が揃ってきました。そして、基金も歯医者さんのおかげで、たくさんの夢を実現する事ができます。これからもよろしくお願ひします。

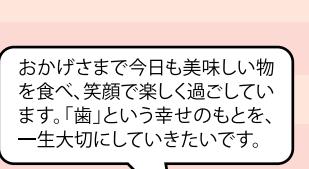


**橘田 花梨**  
茨城  
石岡小6年

基金を支えてくれてありがとうございます。これからも私の夢を家族や友達と協力して叶えていきたいです。



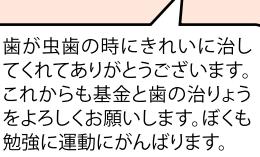
**畠 宗志**  
福岡  
香椎小5年



**淵上 瑞奈**  
熊本  
水俣第一小4年



歯医者さん、いつも金して下さり、本当にありがとうございます。みなさんに感謝しています。これからもご協力お願いします。



歯が虫歯の時にきれいに治してくれてありがとうございます。これからも基金と歯の治りようをよろしくお願いします。ぼくも勉強に運動にがんばります。



**佐藤 聰司**  
大阪  
松原中1年

基金はこれまで、たくさんの人のために使われてたくさんの人を幸せにしていると知りました。こういう行動をされている歯医者さんたちはやさしい心の持ち主だと思います。ありがとうございます。



**福盛 紀世輝**  
鹿児島  
川上小5年



夢みるこども基金は「こどもたちの夢の実現」が未来の目的ですが、財政が許す範囲で基金設立以来、盲導犬の贈呈や福祉活動、歯科関係団体への助成なども行っています。今年はバングラデシュの「夢みるこども基金学校」など3団体への助成の他、イベントに参加した宮城県女川町教育委員会に100万円相当の教材などの支援物資を送ります。また、基金が贈った盲導犬2頭のうち「はっくん1号」が10年が経ち、引退したため「はっくん3号」の育成費（100万円）を九州盲導犬協会に寄付することになりました



引退した「はっくん1号」

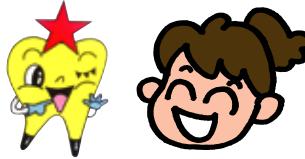
## ■夢みるこども基金 寄付一覧表

寄付金内容	金額	寄付金内容	金額
平成 7年 8月 24時間テレビ愛は地球を救う	300,000	平成18年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	300,006
平成 9年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 7月 江田果瑞奈さん(心臓移植手術)	100,000
平成10年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設費)	2,000,000	平成18年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成10年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成11年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設補助金)	600,000	平成19年 2月 九州盲導犬協会(盲導犬「はっくん2号」)	1,800,000
平成11年 8月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,000	平成19年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	1,000,000
平成11年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成19年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成11年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成19年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成11年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	103,700	平成20年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成12年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成20年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成12年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成20年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成13年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成21年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成13年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成21年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成13年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	2,000,001	平成21年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成14年 3月 日本歯科医師会の8020推進財団	2,000,000	平成22年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成14年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成22年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成14年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成22年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成14年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,116	平成23年 4月 東日本大震災・女川のこどもたちへ(物資送付)	110,677
平成15年 1月 九州盲導犬協会(盲導犬「はっくん1号」)	1,800,000	平成23年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成15年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成23年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成15年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成23年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成15年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	140,411	平成23年10月 宮城県女川教育委員会に支援物資	1,000,000
平成15年10月 イラク・アジアエキュメニカル奉仕会	300,000	平成23年 末 九州盲導犬協会(盲導犬「はっくん3号」)	1,000,000
平成16年 6月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(北・機代20万を含む)	300,119		
平成16年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000		
平成16年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000		
平成17年 1月 新潟県中越地震	3,000,000		
平成17年 4月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	3,000,000		
平成17年 6月 スマトラ沖地震	2,000,000		
平成17年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000		
平成17年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000		
合計		<b>30,855,030</b>	

## ■協力歯科医院数(都道府県内訳) 平成23年9月7日現在 合計1,117件

県名	医院数	県名	医院数	県名	医院数	県名	医院数	県名	医院数	県名	医院数
福岡	271	大分	34	新潟	16	香川	11	山形	6	京都	3
東京	155	北海道	33	沖縄	14	愛知	11	岐阜	6	滋賀	3
神奈川	51	長崎	33	宮城	14	岡山	9	山梨	4	鳥取	2
山口	43	熊本	27	広島	14	栃木	9	石川	4	秋田	2
埼玉	42	佐賀	26	青森	13	岩手	8	島根	4	高知	1
鹿児島	40	福島	22	三重	12	長野	8	福井	4	富山	1
千葉	41	大阪	22	茨城	11	群馬	7	徳島	4	和歌山	1
兵庫	34	宮崎	19	静岡	11	愛媛	7	奈良	4		

# これまでの「夢みるこどもキャンペーン」 夢のイベント



第6回

H12.8

「フリカの大地に根付け  
こどもたちの願い」

福岡県宇美町の農家で開催。内戦で苦しむアフリカ・スーダンに贈る食物の種子を収穫し、現地に送った



第7回

H13.8

「バリアフリーの  
社会を作ろう」

福岡市で「こどもシンポジウム」を開催。バリアフリーについてのこどもたちの意見をまとめ、小泉首相や行政機関に届けた。また、九州盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した



第1回

H7.7

「阿蘇こども出会いの里」

熊本県阿蘇で開催。阪神淡路大震災で両親を亡くしたこどもたちを阿蘇に招き、ホームステイ。



第2回

H8.7

「阿蘇こどもみどり村」

熊本県阿蘇で開催。筋ジストロフィーの少年バンドを招き、雄大な自然の中で交流を深めた。



第8回

H14.8

「世界のこどもたちと交流」

福岡市で開催。「歌・踊り・食・遊び」を通じて国際交流を行った。



第3回

H9.7

「世界のこどもと  
手をつなごう」

福岡市で開催。パングラデシュのカラムディ村から教師ら3人を招き、「夢みるこども基金学校」の建設資金を贈呈した。現在も支援を続けている。



第9回

H15.8

「日本の心をイラクの  
こどもたちへ」

福岡市で開催。日本古来の遊具、パッチワーク、教材費をイラクのこどもたちに贈った。



第4回

H10.7

「夢の放送局」

福岡市で開催。「夢の放送局」を開局して、こどもたちがそれぞれの夢を発信した。



第10回

H16.8

「こどもたちが結ぶ10年の夢」

福岡市で開催。1回～10回までに参加したこどもたちも加わり、巨大な張り絵を制作。また、九州盲導犬協会へ2頭目の盲導犬の目録を贈呈した。



第5回

H11.8

「ケーキがつなぐ友情の輪」

熊本県南関町で開催。大きなケーキ作りに挑戦。出来上がったケーキを児童養護施設へプレゼントした。





第15回

H21.8

### 「松林の中で環境音楽祭」

福岡市と佐賀県唐津市で開催。福岡市中心部の公園などのゴミの清掃作業を行い、その後唐津市・虹ノ松原国有林で松葉かき作業を体験。「松林の中で環境音楽祭」を開催。唐津くんちの「曳山ばやし」の披露、唐津市内の4高校のプラスバンド演奏などで盛り上がった。



第11回

H17.8

### 「キャンペーンのふる里で新潟山古志 福岡・玄界島の震災地の友と交流」

地震で被災した新潟と福岡のこどもたちを熊本県阿蘇に招待して交流。ホームステイなどを通じて友情を深めた。



第16回

H22.7.31,8.1

### 「夢みるこども基金の森」開設と「命」をテーマにしたイベント

佐賀県背振山系に「夢みるこども基金の森」を開設。翌日は福岡市内で「命の現場をみつめて」のテーマで移植医療を受けた体験者の話を聞いたり、ホスピス病棟などの慰問をした。



第12回

H18.7

### 「いつか笑いがモノを言う～人生は笑顔から～」

福岡市で開催。絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。また、こども会議のメンバーの江田君の姉・果玲奈さんのドイツでの心臓移植手術を受けるための募金の応援をし、基金からも寄付金を贈った。



第17回

H23.7.30,7.31

### 東日本大震災被災地と結ぶ縁～こどもシンポジウム～

宮城県女川町の中学生4人と教師1人を招き、「こどもシンポジウム」を開き、今回の震災をどのように受け止めたか、どんな対応が必要か新エネルギーなどについて話し合い、その結果を「こども宣言」として発表した。

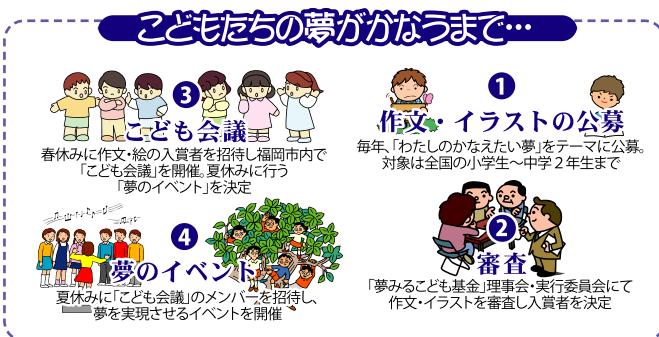


第13回

H19.8

### 「夢と希望をメロディーに乗せて～こども音楽祭」

こどもたちの歌の合唱、盲学校生の太鼓演奏、居合道、第1回参加者のアカペラグループも参加し、交流を深めた。また、こどもたちとアグネス・チャン理事が福岡県西方沖地震で被災した玄界島も慰問した。



第14回

H20.8

### 「地球を守るために『こども隊』出動」

地球環境保護をテーマに「環境こどもサミット」を開き、佐賀県内の国有林に「夢みるこども基金の森」を開設することや、「環境こども新聞」の発行を決めた。



中村さんに贈った写真付きの感謝状

夢みるこども基金の理事長代行で福岡県歯科医師会副会長だった中村直氏（享年69才）が平成23年3月24日、福岡市内の病院で亡くなりました。

基金は亡くなる1週間前に感謝状を贈り、中村さんの20年余にわたる基金へのご尽力を称えました。

中村さんは福岡県歯科医師会の役員として故持山彌之助会長（初代理事長代行）と基金創設に尽力され、その後、理事、理事長代行となり、基金の運営に精力的に取り組みました。

中村さんの病状の悪化を知り、常任理事の間で「中村さんのご存命のうちに功績を称えたい」ということになり、3月14日に古市事務局長が感謝状を届けました。もう言葉が発せられていませんが、中村さんは「こども会議」などで「こどもたちに囲まれていつもの優しい笑顔の写真を見ながら、何度もうなずきながらほおを幾筋もの涙が伝つていました。基金がトラブルに巻き込まれた時も、いつも冷静で厳然とした対応で先頭に立つて基金を引っ張つて頂いた姿はまさに「侍」でした。基金みんなでご冥福を祈り、中村さんの遺志をかみしめながら、今後の基金運営に当たることを理事会でも誓いました。

**中村前理事長代行の死を悼む**

# 「夢みるこども基金学校」



高等学校 9学年～12学年まで



## ◆学校の概要2011年1月現在◆

小学校			中学校			高等学校			全校生徒数		
男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
255	164	419	188	77	265	211	123	334	654	364	1018

教員数:小学校 16名 (男性9名 女性7名)

中学校と高等学校 31名(男性23名 女性8名)  
そのほか6名の非常勤講師がいます。

事務職員や用務員合わせて5名

小・中・高合わせて全職員数:58名(内6名非常勤)  
小学校から高校まで約300mの距離がある。

学業成績:メヘルプール県内のナンバーワン学校へ発展  
教育委員会主催第10学年終了試験で2010年に100%

合格、2011年に98.73%合格

地方教育委員会主催の第5学年と第8学年の優等生試験で県内でナンバーワンの成績

2011年5月に文部大臣による表彰や賞金受賞

2011年7月に県知事賞受賞

2008年にテレビ局主催の弁論大会で全国優勝・放映

そのほか、地域の文化・スポーツ大会など様々な分野で  
大活躍をしている



## ◆学校の位置と建設目的◆

ダッカから約300キロ西方に位置しているカラムディ村。この地域の開発のために地方NGOのショングダニ・ションスタは教育、医療と生活改善のためにさまざまな活動を展開している。その一つは、将来の国づくりに必要な人材や様々な分野でリーダーを育成するためにmiddle-upを目指して夢みるこども基金の資金協力を得て夢みるこども基金学校を建設し、運営している。

## ◆12年の歩み◆

1998年 学校建設開始

1999年 小学校開校

2003年 中学校オープン

2006年 高等学校オープン

### 夢みるこども基金学校への基金の助成

平成10年 3月	¥2,000,000	平成17年 4月	¥3,000,000
平成11年 3月	¥600,000	平成18年 7月	¥300,000
平成11年 8月	¥100,000	平成19年 7月	¥1,000,000
平成11年 12月	¥103,700	平成20年 10月	¥500,000
平成13年 12月	¥2,000,001	平成21年 9月	¥500,000
平成14年 9月	¥100,116	平成22年 9月	¥500,000
平成15年 10月	¥140,411	平成23年 10月	¥500,000
平成16年 6月	¥300,119	合計	¥11,644,353

## 「夢みるこども基金学校」

### ◆優等生の喜び◆

地方教育委員会主催で毎年12月に5年生と8年生を対象に試験があり、各学校から数名ずつの生徒はその試験を受ける。人数制限はないが、試験を受けてあまり良い成績を期待できなければ試験を受けない方が良いと学校側が判断し、一般的に5名以内に限定する。こども基金学校はそのような制限を設けず、試験を受けたい生徒全てに試験を受けるチャンスを与える。2010年度に41人の生徒は試験を受け、その内14人は優等生として認められ、県内のナンバーワン校になった。県知事からも表彰された。このような成績が保護者や生徒の目を引き、どうしてもこの学校で勉強したいという意欲が出ている。



この基金学校から新しい  
バングラデシュをつくる人  
材がたくさん出るのを期  
待しています

### ◆ネパール歯科医療協力会活動報告◆

ネパール歯科医療協力会は1989年からネパールで歯科保健医療協力活動を行っています。実施プロジェクトは歯科診療、学校歯科保健、フッ素洗口、12歳児の検診充填、成人歯科保健、高齢者歯科保健、口腔保健専門家の養成、歯の健康大会、母子保健、巡回歯科保健、栄養指導、調査(歯科疾患、咀嚼機能、生活実態、保健行動、健康観、生活用水分析、農耕地)、トイレプロジェクト、現地での出版(口腔保健テキスト、母子手帳)、日本でのネパール人専門家養成、現地のJICAやUNFPAや保健省とのコラボレーションなど多岐にわたります。訪れた村はテチヨー村やダバケル村など22村を数えます。その結果、歯科治療は14,539人、ヘルスケアは101,765人で合計116,304人になります。

日本からこのプロジェクトにボランティア参加した隊員は693人(女性隊員275人)です。隊員の職種は歯科医師46.0%歯科衛生士17.8%、学生14.1%、看護師3.2%、医師0.3%、その他5.9%です。

現在、25次夏隊を現地に派遣(奥野ひろみ隊長)、母子保健と口腔保健を開催中です。

国際協力活動には資金の確保が必要となります。夢みるこども基金には1997年から連続して15年間資金援助を受けています。長期にわたるご協力に改め感謝申し上げます。

理事長 中村 修一

### ◆ネパール児童教育振興会活動報告◆

ネパールの福岡二郎マルボカリ学校は現在322名の学生を収容し、カスキ郡エリアで学業レベルは2007年よりナンバー1を保持しています。その上、教師は学校施設を清潔に保ち、衛生的な指導にも心がけているようです。実は、3歳の時から当振興会のキャラクターガールとして協力してくれた女子もこの学校の9年生で、現在(2011年9月)来日しているのですが、いつも携帯しているネパールのバッグの中にハンドタオルを入れていて、トイレの後、食事の前後に手を洗う習慣を身につけていました。これはネパールの片田舎では考えられないことです。成績が優秀、英語ができる、ということより驚きました。きっとこの学校では不衛生な生活から起る多種多様な疾病率も低く、従って出席率にも影響しているだろうと思われます。早速調べてみたいと考えております。

彼女と共にこの村からコーヒー栽培に携わる二人の農民も来福しています。ネパールコーヒーの販売にご尽力頂いているコーヒー業者のご招待で、コーヒー学セミナーに参加するためです。300名を越す聴講者の前でネパールのコーヒー栽培事情を発表していました。山岳地帯が故の耕地不足と水不足、出稼生活による労働力不足、農民自身の努力不足などの深刻な問題を抱えるネパールの後進的な現実と、コーヒー大国ブラジルの機械化農業の現実、そのブラジルも30年前はネパールの農民と同様の苦難があったことや、多くの関係者がネパールのコーヒー栽培にエールを送っていることを感じてくれたことでしょう。バナナにして頑張って欲しいものです。

NPO法人福岡・ネパール児童教育振興会 理事長 篠隈 光彦

# 躍進を続ける「夢み

国づくりの「夢」を胸に勉学に励む小学生(2004年)



### ◆入学式と文化祭◆

今年2月27日に遅めの入学式と文化祭が合同で行われた。県知事をはじめ、地方自治体の職員や行政関係者、保護者、地域住民が参加した。生徒たちが自発的にステージ・パフォーマンス、すなわち歌や踊りや劇などを披露した。そのほか模擬店も開き、理科の実験、パソコンの使い方、料理、本の紹介などを行った



## 各地から入学希望者殺到

基金学校の子供たちは明るく、高い志を持って勉学や課外活動に励んでいる。彼らの夢をぜひ実現させたい。今までのご支援を心から感謝し、これからのご協力やご支援をお願いしたい。

夢みるこども基金学校日本側の責任者

ラフマン モクレスール

(日本経済大学福岡キャンパス専任講師)  
(バングラデシュ手をつなぐ会副代表)

# 理事長に八尋晋策氏

## OB・OG会の代表3人を理事に

夢みるこども基金の平成23年度定期理事会が6月17日、福岡市中央区の福岡ビル9階ホールで開かれました。

開会に先立ち、3月24

日に急死された中村直

前理事長代行のご冥福

を祈り、黙とうしました。

八尋晋策理事長代行が

長い間基金を支えて頂

いた中村さんの死で基金

は大きな柱を失ったが、

中村さんの遺志を継いで

ごどもたちの夢を叶える

お手伝いに一層力を入れ

て行きたい。福岡県歯科

医師会が基金設立時か

ら基金に派遣していた3

人の理事の派遣を取り止

めるということを通告して

来るなど基金を取り巻く

環境は厳しい。しかし基

金を応援して下さる協力

者』の作文・絵の応募者

やる。また『私のかなえたい

1000件以上いらし

歯科医院は現在も

和男氏(西南大学国際文化学部准教授)の再任に中島

会代表、九州大学生)、

本通運株副社長)、岡部

憲和氏(基金OB・OG

会代表)、JR東海・次

長)、山田英夫氏(元日

雅俊顧問税理士が收支報告書と貸借対照表に基づいて平成22年度の会計決算について説明をし、木村友則監事が「監査のため」はづくん3号の

結果適正である」と報告しました。

この後、古市事務局長が平成23年度の事業計画吉田顧問税理士から同予算案について説明があり、基金設立時から日本通運㈱に支援してもらつたメール便などの通信費などを基金で負担することになったことや地震被災地の宮城県女川町や盲導犬の支援などに

生4人と教師1人を招き「東日本大震災被災地と結ぶ絆」こどもシンボジウム」を7月30・31の両日、開催することが古市事務局長から説明があり、了承されました。

育成資金100万円を贈ることを提案し、いずれも承認されました。

夏のイベントは大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県女川町の中学生4人と教師1人を招き「東日本大震災被災地と結ぶ絆」こどもシンボジウム」を7月30・31の両日、開催することが古市事務局長から説明があり、了承されました。

民事訴訟の経過報告

の後、今後の基金運営などについて各理事から意見、提案などがありました。最後に新任理事の植木、中原、岡部の3氏の挨拶があり、閉会しました。

裁判の経過報告

「数億円の使途不明金がある」などとして夢みるこども基金に対し、妨害を続けて来た河原英雄・元日本頸咬合学会理事長ら3人を相手取り、基金が総額3884万円余の損害賠償請求と謝罪広告の掲載を求めて福岡地裁に提訴している民事訴訟は9月13日までに計30回の口頭弁論がありました。

原告基金の理事長代行だった中村直氏が3月に急死され、担当の裁判官も4月に交代されたことなどで審理が長引いています。特に民法の規定により中村さんの死去に伴い、奥様や子供さん、それに中村さんの弟妹の方が訴訟を承継するかどうかの手続きが必要なために時間がかかっています。



各氏(手前から)

### 人事 ※敬称略

#### 【理事長】

- ▷新任  
▷八尋 晋策(理事長代行・常任理事・元読売新聞西部本社論説委員・経済部長)=常任理事も兼任

#### 【常任理事】

- ▷再任  
▷中島 和男(西南学院大学国際文化学部長)

#### 【理事】

- ▷新任  
▷植木 とみ子(NPO法人日本幼児教育振興会理事・元福岡市教育長)  
▷中原 淳一(JR東海・次長・春日部高校評議員・同PTA副会長)  
▷山田 英夫(元日本通運㈱副社長)  
▷岡部 憲和(夢みるこども基金OB・OG会代表 九州大学21世紀アート学部2年)
- ▷再任  
▷八尋 晋策(理事長代行・常任理事・元読売新聞西部本社論説委員)を理事長に、新任の理事に植木とみ子氏(元福岡市教諭)を任命した。補綴金属の回収は228件、総重量は73,554グラムで件数は前年を9件上回ったが、重量は5,238グラム減りました。
- ▷実行委員  
▷新任  
▷植木 とみ子(前記)  
▷中原 淳一(前記)  
▷再任  
▷内川 秀治(元フクニチ新聞文化部長)  
▷平松 晓(グラフィックデザイナー、福岡県産業デザイン協議会理事)  
▷森山 日出夫(九州大学名誉教授、福岡国際大学国際交流推進企画室長)  
▷山中 崇照(夢みるこども基金OB・OG会代表、会社員)  
▷退任  
(理事長代行・常任理事)  
▷中村 直(福岡県歯科医師会副会長、3月20日死去)  
(理事)  
▷長田 行生(日本通運㈱執行役員、九州ブロック地域総括福岡支店長)  
▷永田 正典(福岡県歯科医師会副会長)  
▷長友 泰明(元九州山口経済連合会常務理事)
- ▷監事  
▷再任  
▷木村 友則(木村友則税理士事務所所長)

#### 【監事】

- ▷再任  
▷木村 友則(木村友則税理士事務所所長)

#### 【実行委員】

- ▷新任  
▷植木 とみ子(前記)  
▷中原 淳一(前記)  
▷再任  
▷内川 秀治(元フクニチ新聞文化部長)  
▷平松 晓(グラフィックデザイナー、福岡県産業デザイン協議会理事)  
▷森山 日出夫(前記)  
▷山本 俊三郎(福岡博多東ライオンズクラブ会員)  
▷退任  
▷元岡 章(日本通運㈱福岡支店 ペリカン・アロー課長)  
▷原田 容良(企画会社社長 テレビ局ディレクター)

### 裁判の経過報告

「数億円の使途不明金がある」などとして夢みるこども基金に対し、妨害を続けて来た河原英雄・元日本頸咬合学会理事長ら3人を相手取り、基金が総額3884万円余の損害賠償請求と謝罪広告の掲載を求めて福岡地裁に提訴している民事訴訟は9月13日までに計30回の口頭弁論がありました。

原告基金の理事長代行だった中村直氏が3月に急死され、担当の裁判官も4月に交代されたことなどで審理が長引いています。特に民法の規定により中村さんの死去に伴い、奥様や子供さん、それに中村さんの弟妹の方が訴訟を承継するかどうかの手続きが必要なために時間がかかっています。

# 夢みるこどもキャンペーン・協力歯科医院申込FAX用紙

右のキリトリ線から切り取り、FAXにてご送信くださいますようお願い致します。

住 所	郵便番号	〒
	都道府県	
	市区町名番地	
	マンション名 ビル名	
医院名	(ふりがな)	
院長名	(ふりがな)	
TEL	( )	—
FAX	( )	—
*通信欄(ご意見・要望などありましたら記入ください)		

○  
キリトリ線

\*お申込みをいただきましたら、事務局から待合室に貼るポスター、回収箱などをお送り致します。

\*定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。

\*金属をお送りいただく際は、集荷フリーダイヤル(ゆうパック)【0800-0800-111】にお電話いただき“基金着払い”でお送り下さい。

\*登録費、年会費はございません。

「基金の流れ」は背表紙に掲載しております。  
「夢みるこどもキャンペーン」の活動については下記ホームページをご覧下さい。  
URL : <http://www.yumemirukodomo.jp>



## 基金の流れ



「金属冠」は換金され  
こどもたちの夢の支援に  
役立てられます。



換金された  
リサイクル益金  
が役に立  
てられます。



金属塊に再生→換金

## 業者に委託しての 回収はしていません

夢みるこども基金は金属冠の回収を正確、クリアにするために、金属冠は基金に直接送っていただいています。これまで、一部の金属業者が「基金と提携している」「業者から基金に送る」ということで、金属冠を持ち去るケースがありましたのでご注意ください。

また、基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度「基金だより」と一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送っていたいたい歯科医院等については、その都度受領証と感謝状を送り、基金備え付けの帳簿に受け入れ年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応できるようになりますのでご連絡ください。

## 日本通運に感謝状

平成6年にスタートした夢みるこどもキャンペーンの協賛企業として16年間にわたり基金の金属冠回収や基金が出すメール便などの配布を無料で行って頂いた日本通運株式会社に対し、基金は平成22年12月7日に感謝状を贈りました。

基金の設立前に日通にキヤンペーべーへの協力要請を行ったところ、「こどもたちのためにいい事業だから、日通の社会貢献活動として取り組みたい」と了承を頂きました。本社から全国の各支店に基金に協力するように指示を出し、基金が財源としている協力歯科医院への補綴金属ボトルの設置と回収、基金が発行する基金によりや環境こども新聞それに各医院への呼び掛け文書の配布などを全社員を挙げて行って下さいました。それを金額に換算すると年間600-800万円に上ります。これまでの基金への支援は相当額になります。日通の協力がなければ基金の運営は難しかったと思われます。

日通は宅配便とメール便の事業から撤退したため基金への支援も終了し、その分は基金が自前でやらなければならなくなりました。

基金の設立前に日通にキヤンペーべーへの協力要請を行ったところ、「こどもたちのためにいい事業だから、日通の社会貢献活動として取り組みたい」と了承を頂きました。本社から全国の各支店に基金に協力するように指示を出し、基金が財源としている協力歯科医院への補綴金属ボトルの設置と回収、基金が発行する基金によりや環境こども新聞それに各医院への呼び掛け文書の配布などを全社員を挙げて行って下さいました。それを金額に換算すると年間600-800万円に上ります。これまでの基金への支援は相当額になります。日通の協力がなければ基金の運営は難しかったと思われます。

基金の設立前に日通にキヤンペーべーへの協力要請を行ったところ、「こどもたちのためにいい事業だから、日通の社会貢献活動として取り組みたい」と了承を頂きました。本社から全国の各支店に基金に協力するように指示を出し、基金が財源としている協力歯科医院への補綴金属ボトルの設置と回収、基金が発行する基金によりや環境こども新聞それに各医院への呼び掛け文書の配布などを全社員を挙げて行って下さいました。それを金額に換算すると年間600-800万円に上ります。これまでの基金への支援は相当額になります。日通の協力がなければ基金の運営は難しかったと思われます。

## 10月と11月は金属冠定期回収月間です

### ●ご入会について

協力歯科医院のお申し込みは随時受け付けています。15頁の申込用紙を切り取り、FAXにて送信してください。登録費・年会費はございません。ご入会いただくと、直ちにポスター、木箱、内ボトル2個をお送りします。内ボトルに金属冠をためていただき、基金事務局までお送りください。

### ●金属冠は随時受付中

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に10月と11月を強化月間としています。少量しかたまつても構いませんので、集荷フリーダイヤル(ゆうパック☎0800-0800-111)へ電話し、「基金着払い」でお送りください。直接基金事務局(☎092-751-0021)へ電話されても結構です。

**金属冠集荷フリーダイヤル  
ゆうパック☎0800-0800-111**

編集後記

## 絆



方不明者は1000人を超えた。小学3校と中学2校があり児童生徒は約700人です。

イベントに参加してもらう

が、お会いした町の教育長校

長、教師の方々が「子供達が

とが町の復興のためにも、子供

達の心のケアにも大事」と、明

るく、前向きに取り組んでい

らうしゃることに驚き、感動し

ました。

春に開かれた「こども会議」で「こどもたちの意見で震災地のために何か役立ちたい」と決まりました。基金の役員、スタッフはどんな事ができるか考えていました。その時に目にとまつたのが女川第一中学校の阿部一彦教諭(44)を中心となり、「全てを失った子供達だが、エンピツと消しゴムがあれば学校を再開できる」としてインターネットのホームページで立ち上げた「希望のエンピツプロジェクト」でした。

早速、阿部教諭に「いま

ぐ必要な物は?」と支援を申

し出たところ、「子供達は着の

身着のまま避難所生活を送

っているので、水の要らないシャンプーと靴下が欲しい」と言

われたので、取りあえず事務

局判断でシャンプーと靴下を

送りました。その後の理事会で

100万円相当の救援物資

を送ることも決まりました。

女川町は人口約1万人の

漁業の町で今回の地震で家屋

の約8割が流失し、死亡、行

われます。

常任理事・事務局長

古市悟

が、イベントを通じて知り合った女川町の人達と痛みを分け合い、励まし合って、心のぬくもりと絆を大事に長くつながって行くことを思います。このよ

り、改めて感謝申し上げます。



発行 夢みるこども基金事務局

URL: <http://www.yumemirukodomo.jp>

〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-6-2F

☎092-751-0021 FAX 092-751-0249

E-mail:jimukyoku@yumemirukodomo.jp